

2025年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ アイヌ・先住民学 ）
出題の意図	<p>アイヌ・先住民学では、ひとつの学問領域にとどまらない学際的研究が求められる。本問題は、アイヌ・先住民学講座での研究に必要な基礎知識について問うとともに、専門分野に関する知識やその説明力について、学部レベルでの達成度を確認するものである。</p> <p>①は、アイヌ・先住民に関連する重要な課題であるレイシャル・ハラメントについての基礎知識と見識を問う問題である。</p> <p>②は、博物館や美術館の展示の脱植民地化に関する基礎知識と見識を問う問題である。</p>

2025年度

北海道大学大学院文學院修士課程入学試験問題（前期）

（専門試験） アイヌ・先住民学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 2枚を配付する。

以下の①と②の計2問に解答しなさい。それぞれの問題の解答は、別の解答用紙に記入し、それぞれの解答の冒頭に、解答する問題番号を明記すること。

①

大学の学部のゼミで、担当教員がアイヌ民族に対する差別について説明したところ、履修している学生のひとりが、「これまでアイヌ民族に会ったことがないので、私はアイヌ民族を差別したことはありません。」と発言した。このような発言に対し、あなたが担当教員であればどのように対応するか、説明してください。

②

一般に、社会の諸制度は社会的マジョリティ中心のものになる傾向があります。多文化主義の推進においては、諸制度の中立化（先住民族が暮らす社会においては脱植民地化）が求められます。博物館や美術館における展示もマジョリティ中心に構築されている可能性があります。これを見直す場合に、どのような点に注意するかを説明してください。（※直接・間接に触れた事例を挙げても構いません。）